

# 平成29年度 清瀬市立 清瀬中学校 学校評価 評価表

**学校教育目標** 人間尊重を基本理念に国際的視野にたち平和を愛する社会人の形成をめざして、  
 ・正しい判断力と粘りづよい実践力をもった生徒を育てる ・健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる ・高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる

## 目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 伝統を受け継ぎ、安全で地域・保護者から信頼を寄せられる学校
- 【目指す児童・生徒像】 自らよく学び、よく考え、互いに支え合い認め合える豊かな心と強い意志をもち、国際的視野に立てる生徒
- 【目指す教師像】 生徒のよさや可能性を引き出し、教職員が互いに磨き合い、協力し合える組織をつくり、公務員としての自覚有る行動のとれる教職員

**前年度までの学校経営上の成果と課題** 学力の向上とインクルーシブ教育、および国際理解教育の推進に重点を置いて学校運営を行った。本校は平成26年度以降、5教科において毎授業もしくは単元ごとに5分間の復習確認テストを行い、基礎的基本的知識・技能の定着を図っている。インクルーシブ教育の推進を目指した交流・共同学習については、インクルーシブ教育推進委員会や特別支援教育コーディネーターが中心となって、推進できている。また、自ら考え判断して行動のできる生徒の育成を図った生活指導を実践している。課題としては、特別支援学級と通常学級との連携が不十分な場面が見られたことや、学力調査において5教科の全てで東京都の平均を上回ることができなかった点が挙げられる。

柱	具体的方策	自己評価		学校関係者評価		
		評価		評価	コメント	
		取組指標	成果指標			課題と次年度以降の対策
確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で復習テストを定期的を実施。</li> <li>授業規律を確立するための授業運営ルールを、全教員が徹底する。</li> <li>定期考査前や長期休業中に補習授業を行う。</li> </ul>	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>5教科では復習テストを定期的を実施した。</li> <li>授業規律を確立するための授業運営ルールを、全教員が徹底する。</li> <li>定期考査前は個別指導を行った。長期休業中には全学年で補習授業を行った。</li> </ul>	3	授業参観するたびに、落ち着いて学習している姿を見ることができ、大変にいいことだと思う。先生方もいろいろ工夫された授業を行ってよいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末を有効的に活用する。</li> <li>清瀬市教育研究会や各種研修会に積極的に参加する。</li> <li>アクティブラーニングをテーマにした校内研修を行う。</li> </ul>	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語と家庭科でデジタル教科書を購入手、タブレット端末を有効的に活用した。</li> <li>清瀬市教育研究会や各種研修会に積極的に参加する。</li> <li>アクティブラーニングをテーマにした校内研修を、外部講師を3回呼んで行った。</li> </ul>	4	大型テレビを使って授業をしているのは、大変分かりやすい授業だと思う。今の子どもたちは、機械になれているので、どんどん使ってほしい。
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>命の教育を全学年で行う。</li> <li>ふれあいアンケートを毎学期実施する。</li> <li>休み時間には学年担当教員が学年フロアに待機し、生徒に寄り添う「廊下職」</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>命の教育を全学年で行った。</li> <li>ふれあいアンケートを毎学期実施し、生徒の状況把握に努めた。</li> <li>「廊下職員室」は今年度も継続実施している。</li> </ul>	4	生徒が落ち着いているのは、先生方が子どもたちと信頼関係が築けているからだと思う。廊下職員室をぜひ続けてほしいです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼で部活動、資格取得試験、各種コンクール等での活躍を顕彰する。</li> <li>学校便りや学年便り等において生徒の活躍を紹介し、校長室前の顕彰コーナーに掲示する。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼で全ての表彰を行った。</li> <li>表彰者を全て紹介した。校長室前の顕彰コーナーの文字が小さかったため、次年度は目立つよう工夫したい。</li> </ul>	4	校長室前の掲示板に、生徒さんの活躍が貼ってあって、子どもたちにとってはとても励みになることだと思う。ぜひ続けてほしい。
健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の授業においてティームティーチングを行い効率的重層的指導をする。</li> <li>説明を効率的に行うことにより運動の時間をより多く確保する。</li> <li>投力向上のトレーニングを行う。</li> </ul>	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>全て計画どおりに行ったが、投力は東京都平均を上回ることができなかった。対策を再構築する必要がある。</li> </ul>	4	今の子どもたちは体力がないと思うので、どんどん運動させて、体力をつけさせてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の残菜量を減らすため、配膳の工夫によって食べる時間を確保する。</li> <li>生徒による完食推進キャンペーンを行う。</li> <li>朝食を摂る指導を行う。</li> </ul>	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>『12時50分いただきますキャンペーン』実施期間中は、食べる時間を確保できたため、残菜量が大きく減少した。給食準備の時間をいかに短縮できるかが課題である。</li> <li>朝食を摂る生徒は96%になり、向上している。</li> </ul>	4	朝食を摂っている生徒は96%で多いと感じるかも知れないが、4%の生徒は朝ご飯を食べていない。この数字に注目するべきである。ただ、これはご家庭のことなので、学校でどうにかできる問題ではないように思う。
本校の特色①	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次にユニセフ出前授業を実施。</li> <li>2年次に『留学生が先生』プロジェクトを利用した交流授業を実施。</li> <li>3年次に、JICAによる出前授業と、修学旅行時の英語インタビューを行う。</li> </ul>	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>全て計画どおりに実施した。ユニセフ学習とJICA学習は、発展途上国支援という同じ枠組みなので、新たなプログラムの構築が必要である。</li> <li>実施授業時数が多いとはいえないため、アンケートの実施時期によって、生徒の意識に大きな違いが出てしまっている。実態把握のための設問の工夫が必要である。</li> </ul>	3	これからの時代は、国際理解、国際交流がますます大事になってくる。とてもよい取り組みなので、ぜひ続けてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内インクルーシブ教育推進委員会を定期的に開催する。</li> <li>特別支援学級と通常学級との交流・共同学習を授業、行事、部活動、給食等において行う。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>全て計画どおりに実施できている。交流・共同学習もずいぶん進んでいるため、生徒や教員の中では、インクルーシブ教育が当たり前になっている。</li> </ul>	4	いろいろなおさんがいるので、一人ひとりに合った支援ができると良い。特に清瀬中学校には特別支援学級があるので、市の中心となって進めてほしい。
本校の特色②	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間で計画的に職業調べ、職場体験、上級学校調べ等を行う。</li> <li>調べ学習や発表活動等を通して、進んで進路学習に取り組む指導を行う。</li> <li>外部人材を活用する。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年進行に合わせた進路学習を行っている。</li> <li>調べ学習や発表活動等を必ず取り入れており、主体的な学習を推進している。</li> <li>全学年において外部人材を活用している。</li> </ul>	4	今の子どもたちは、将来の夢や希望が少ないと聞いている。子どもたちの将来のために、ぜひ職業についての学習をさせてあげてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの積極的な更新。</li> <li>学校便りの地域への配布。</li> <li>学校行事や授業公開等の事前案内。</li> <li>地域活動へ生徒・教員が参加。</li> <li>1組職場体験先を地域が斡旋。</li> </ul>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの更新は技術的に難しく、一人の担当者しかできないのが実情である。より操作性に優れたホームページ作成ソフトが求められている。</li> </ul>	4	学校からの案内はいつももらっていて、学校の様子が変わってよい。